



SuperStream-NXによる ペーパーレス化成功事例のご紹介



2021.06.10

スーパーストリーム株式会社
営業本部 コンサルティング部
渡邊 崇

AGENDA

01

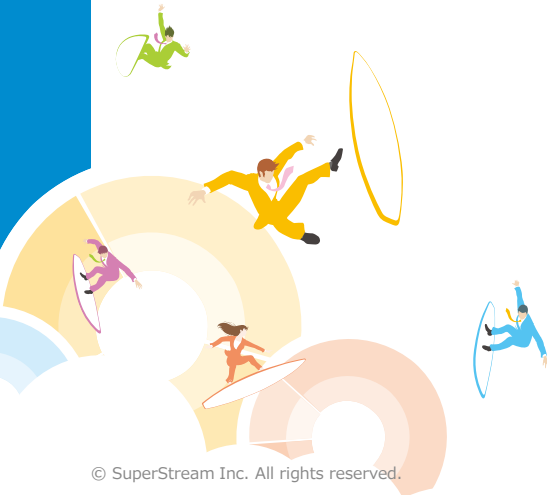
証憑管理オプション
証憑管理e文書対応オプション

02

AI-OCR(請求書)

03

まとめ



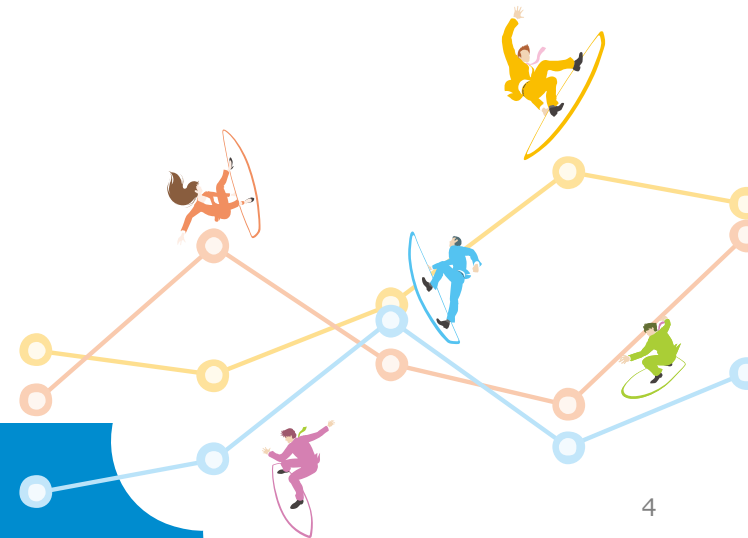


01

証憑管理オプション

証憑管理e文書対応オプション

01 証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション 運用事例のご紹介



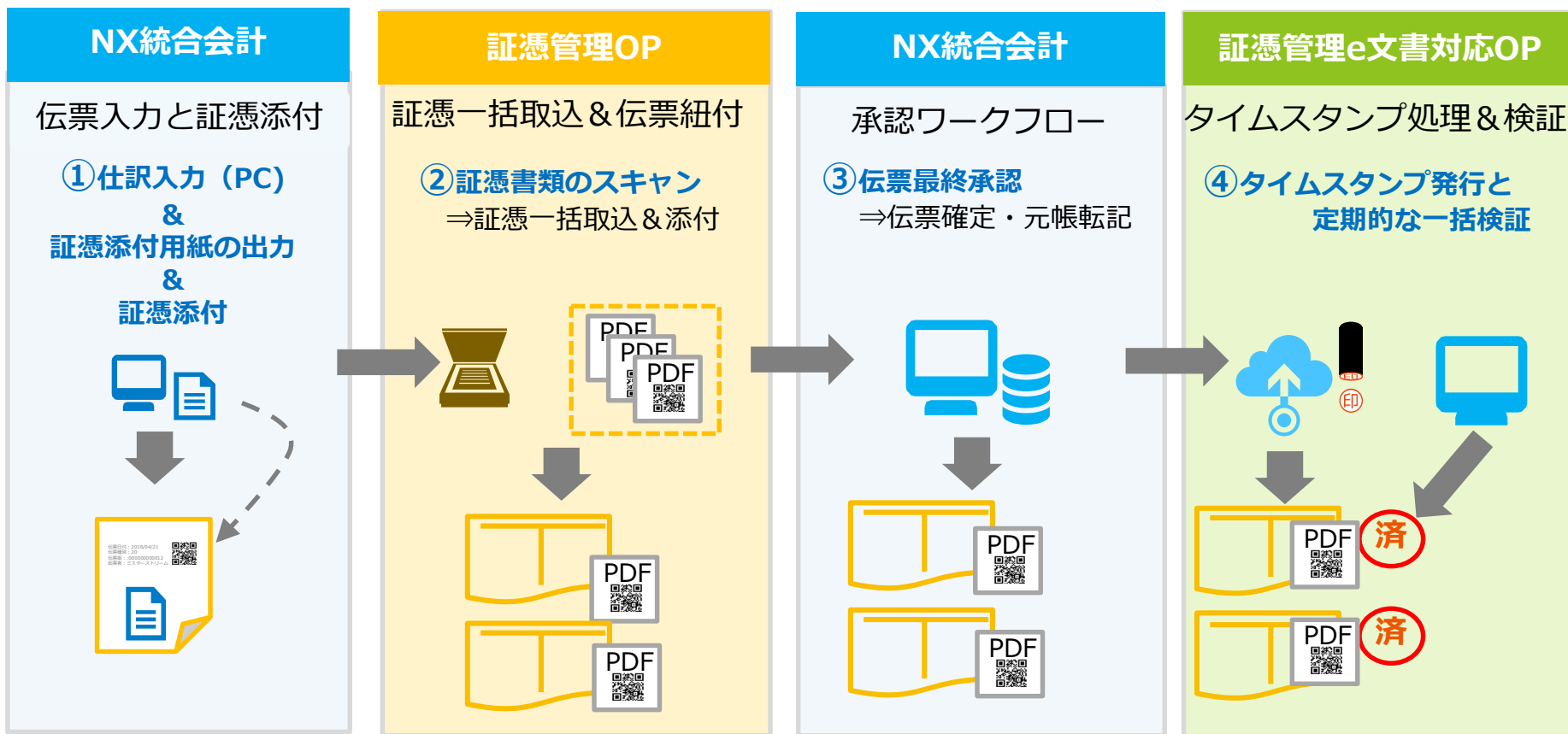
証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション

■ 機能概要

伝票入力後、QRコードが印字された添付用紙を出力

証憑を添付用紙とセットにしてスキャンすることで伝票に自動添付

証憑管理e文書対応OPを導入することでタイムスタンプ発行と一括検証処理を行える



■ご参考

公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会（JIIMA）の認証について

電子帳簿ソフト法的要件認証制度

電子帳簿ソフト法的要件認証制度とは、国税関係帳簿の作成・保存を行う市販ソフトウェアが電子帳簿保存法の要件を満たしているかをチェックし、法的要件を満足していると判断したものを認証するものです。



製品名：SuperStream-NX
統合会計 Ver.2

認証番号：101000-00

電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証制度

電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証制度とは、スキャナ保存を行う市販ソフトウェアが電子帳簿保存法の要件を満たしているかをチェックし、法的要件を満足していると判断したものを認証するものです。



製品名：SuperStream-NX
統合会計 Ver.2

認証番号：004800-00

証憑管理オプション

■ 運用事例を3つご紹介

 パターン1 紙による承認からシステム上での承認へ



 パターン2 手動添付から自動添付の運用へ



 パターン3 原本管理不要の運用へ



証憑管理オプション 運用事例のご紹介

■ パターン1 紙による承認からシステム上での承認へ

従来の運用

伝票の入力から最終承認までの一連の処理を紙ベースにて運用



運用変更

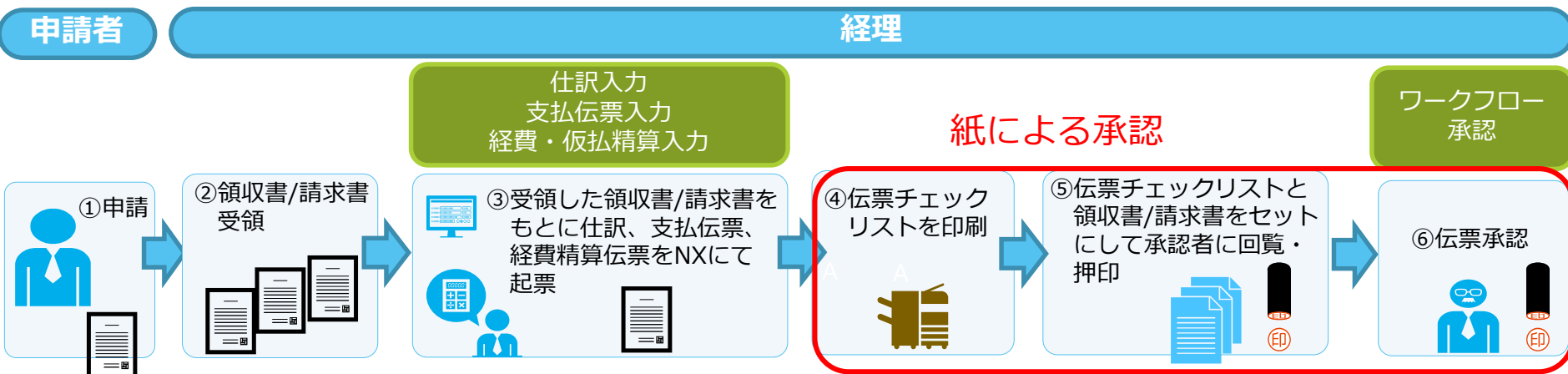
導入後の運用

伝票に証憑PDFを自動添付することにより主に承認作業について
ペーパーレス化が可能となった

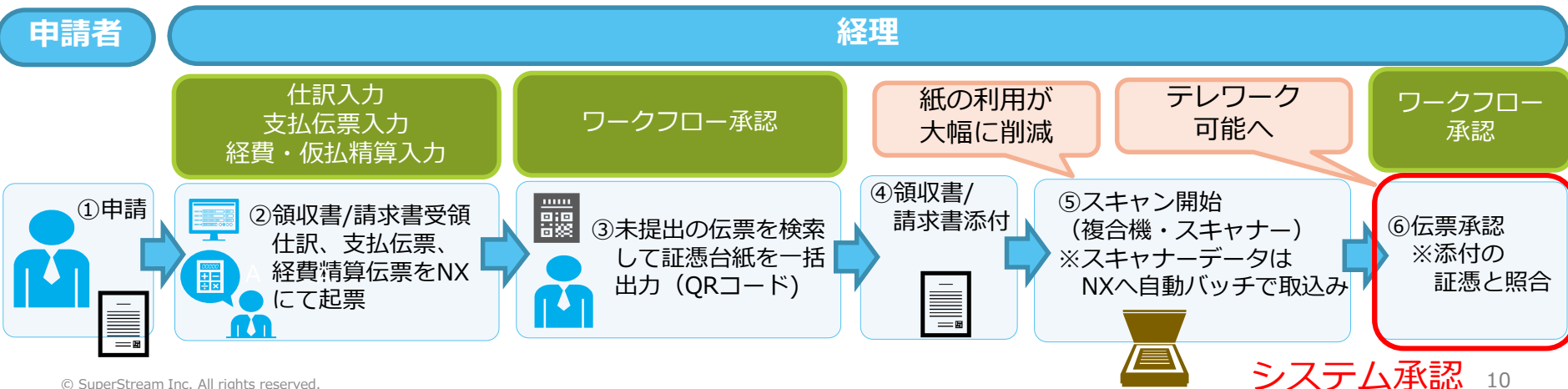
証憑管理オプション 運用事例のご紹介

■パターン1 紙による承認からシステム上での承認へ

<従来の運用>



<証憑管理OP導入後の運用>



証憑管理オプション 運用事例のご紹介

■ パターン2 手動添付から自動添付の運用へ

従来の運用

標準機能である手動添付にて伝票への証憑添付を実施
承認作業ではペーパーレス化を実現できていたが、証憑を伝票に添付
する際の処理が煩雑となっていた



運用変更

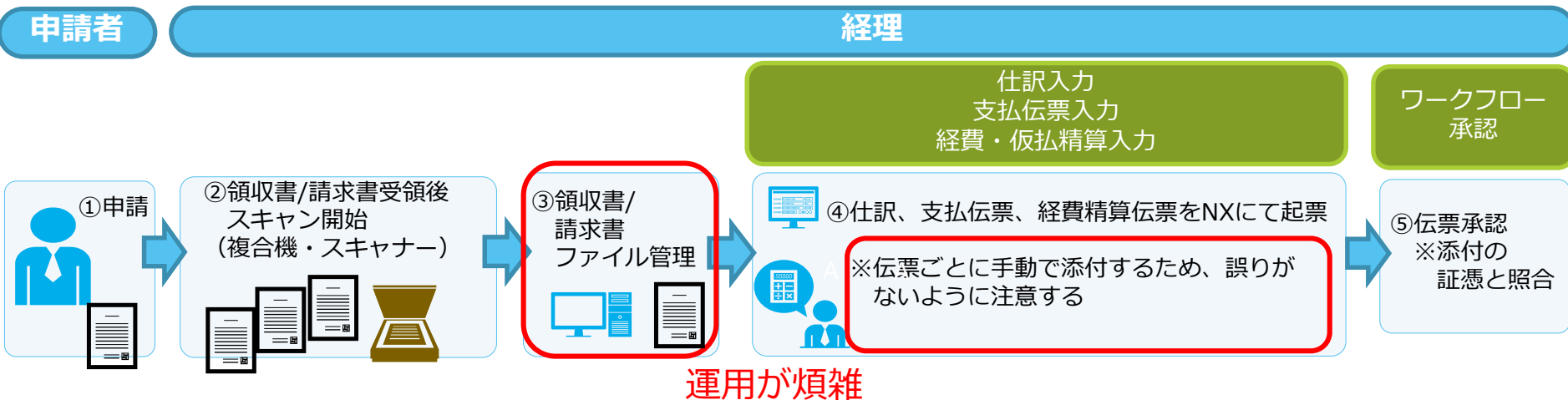
導入後の運用

証憑管理OPによる自動添付にて処理の効率化を実現

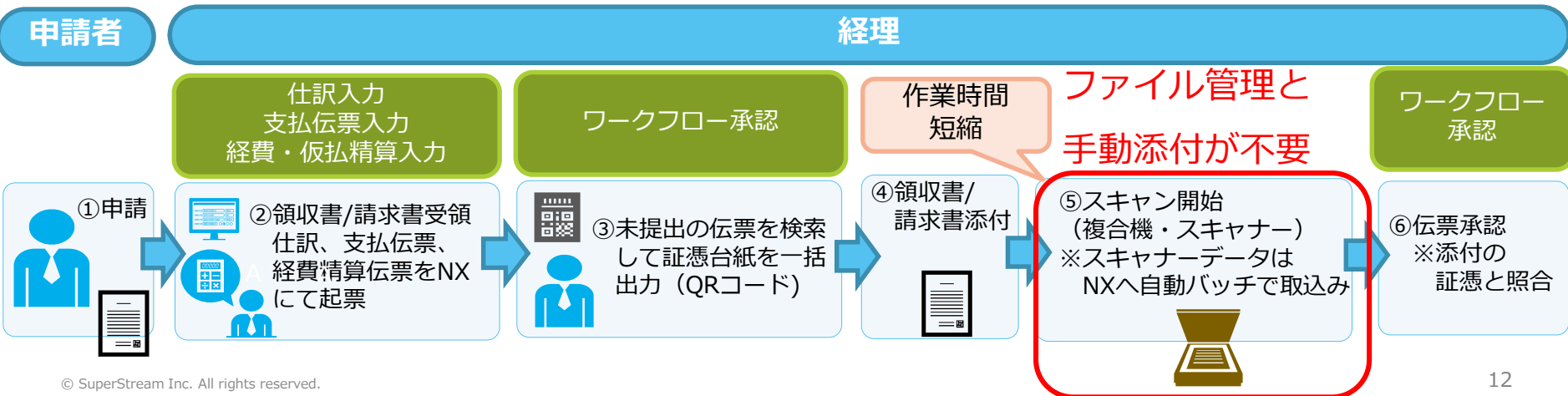
証憑管理オプション 運用事例のご紹介

■ パターン2 手動添付から自動添付の運用へ

<従来の運用>



<証憑管理OP導入後の運用>



証憑管理e文書対応オプション 運用事例のご紹介

■ パターン3 原本管理不要の運用へ

従来の運用

証憑管理OPによる自動添付を活用

ただし、紙などによる原本の管理が別途必要



運用変更

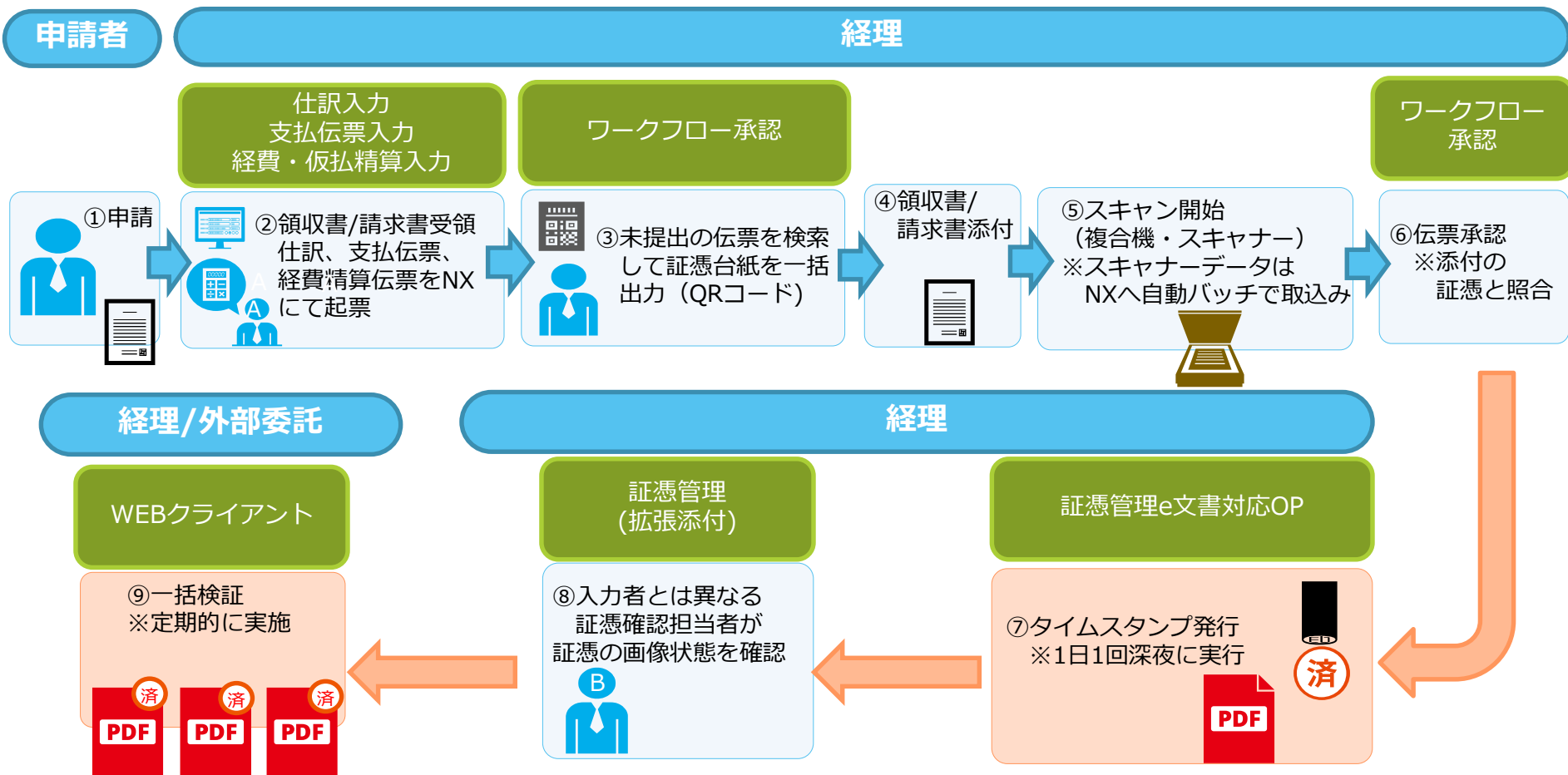
導入後の運用

証憑管理e文書対応OPにて原本の管理を不要にする運用へ変更

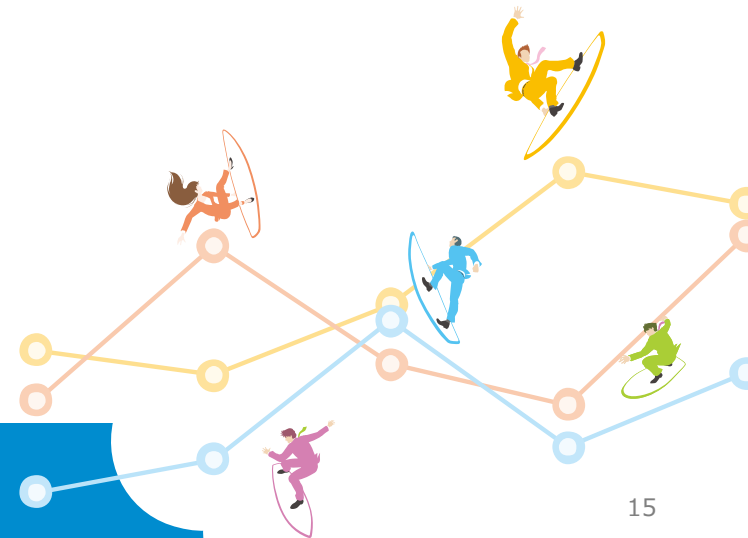
証憑管理e文書対応オプション 運用事例のご紹介

■パターン3 原本管理不要の運用へ

<証憑管理e文書対応OP導入後の運用>



01 証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション 導入事例のご紹介



■ 導入手順

SuperStream-NX統合会計をすでにご利用頂いているお客様に証憑管理OP・証憑管理e文書対応OPを導入する場合の作業項目は以下の通りです

<スーパーストリームにて標準導入を実施した場合の作業項目>

作業	概要	作業内容	お客様	弊社
適合調査	<ul style="list-style-type: none"> •業務とパッケージ標準機能とのFIT & GAPを実施 •証憑管理OP・証憑管理e文書対応OPの運用方針を決定 	証憑管理OP・証憑管理e文書対応OPの機能説明		◎
		業務とパッケージ標準機能とのFIT & GAPを実施	○	◎
		運用方針の決定	◎	○
		適合調査報告書の作成・レビュー	◎	◎
導入支援 環境構築	<ul style="list-style-type: none"> •スキャナー準備 •環境構築 •証憑管理OP・証憑管理e文書対応OP関連マスタの登録 •決定した運用方針に基づいてテスト会社にて運用テストを実施 	スキャナー準備	◎	
		証憑管理OP・証憑管理e文書OPの環境構築(サーバ)		◎
		関連マスタの登録	◎	△
		運用テストの実施	◎	△
本稼働	<ul style="list-style-type: none"> •本稼働を実施 	本稼働の実施	◎	△
		本稼働の確認	◎	△

◎ : 主担当 ○ : 副担当 △ : 支援 (Q&A対応等)

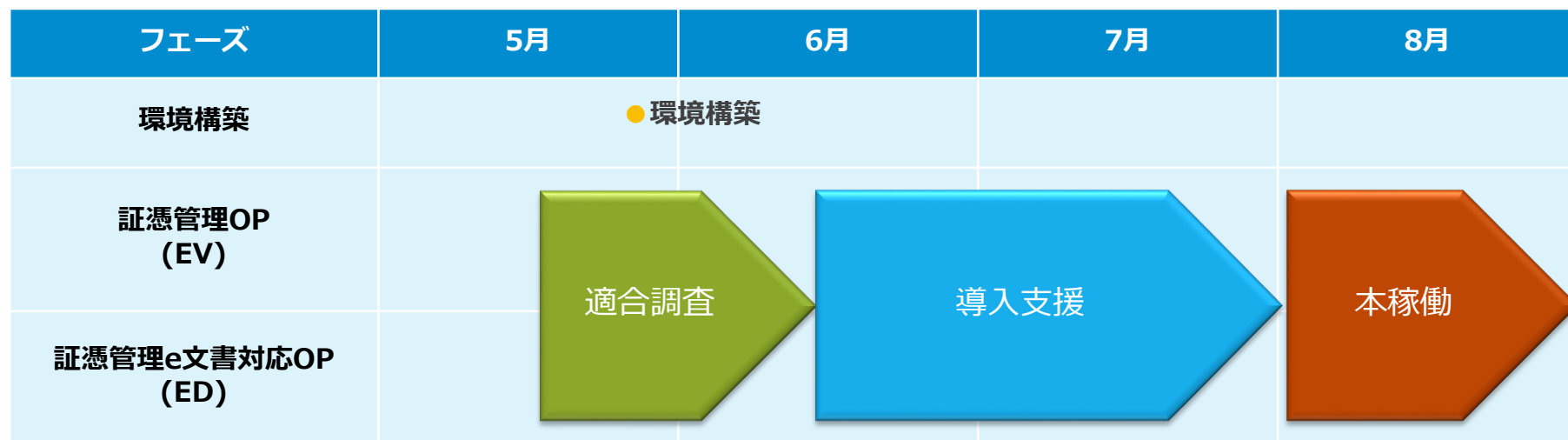
証憑管理オプション 導入事例

■ A社様

SuperStream-NX(GL/AP)を約3年ご利用

ペーパーレス化とスキャナ保存法対応を目的として証憑管理OP、証憑管理e文書対応OPを同時に導入

業種	導入状況	導入期間	お打合せ回数
製造業	追加導入	5月中旬～7月末 ※約2か月半	計4回 (適合調査 2回、導入支援 2回)



証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション 導入事例

■ B社様

SuperStream-NX(GL/AP)を約2年ご利用

最初に証憑管理OPを導入し、運用が落ち着いたタイミングで証憑管理e文書対応OPを導入する2段階での導入を行う

業種	導入状況	導入期間	お打合せ回数
サービス業	追加導入	2月上旬～7月上旬	計4回 (証憑管理OP 2回 証憑管理e文書対応OP 2回)

フェーズ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
環境構築		●環境構築			●環境構築	
証憑管理OP (EV)	適合調査	導入支援	本稼働			
証憑管理e文書対応OP (ED)					導入支援	本稼働

証憑管理オプション 導入事例

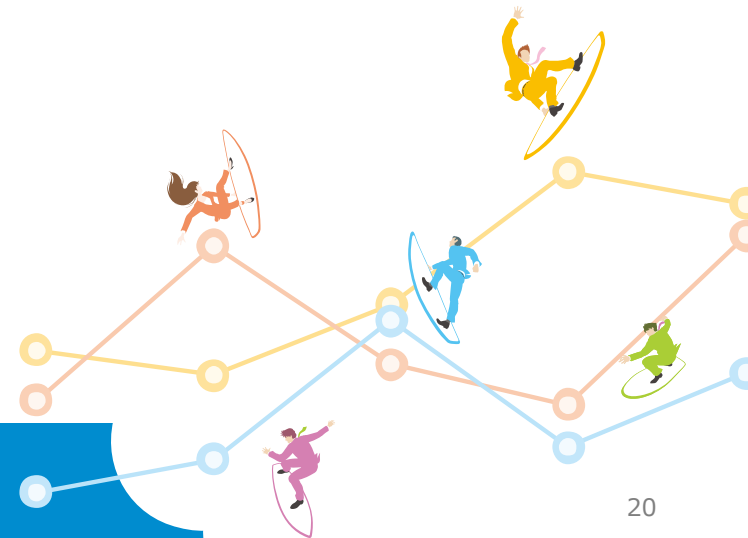
■ C社様

SuperStream-NX(GL/AP/AR)を新規導入
適合調査にて証憑管理OPの導入を決定し、追加導入

業種	導入状況	導入期間	お打合せ回数
製造業	新規導入	8月中旬～9月末 約1か月半	計2回

フェーズ	7月	8月	9月	10月	11月
環境構築					
統合会計 (NX)		導入支援		本稼働	
証憑管理OP (EV)			導入支援	本稼働	
証憑管理e文書対応 OP (ED)					

01 証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション 導入のポイント



証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション 導入のポイント

■ 証憑管理OP/証憑管理e文書対応OP共通



- スキャナーや複合機の機種指定はないため、既存の機器を利用可能
- 高圧縮PDFは非対応
スキャナーや複合機によっては、初期設定が高圧縮モードでのスキャンとなっており、設定変更が必要な場合もある

■ 証憑管理OP

- オプションツール利用設定機能により会社単位での設定が必要
NX統合会計メニューでのマスタ設定はなし

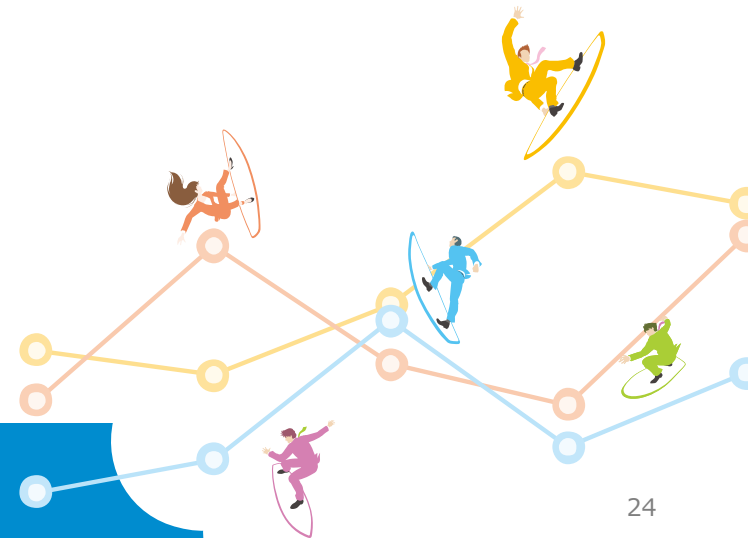
証憑管理オプション・証憑管理e文書対応オプション 導入のポイント

■ 証憑管理e文書対応OP

-  NX統合会計メニューで会計管理マスタの証憑管理項目(拡張添付確認区分やタイムスタンプ適用開始日など)、証憑種類マスタの設定が必要
-  証憑管理(拡張添付)にて証憑の確認を行う方は、会計業務権限マスタの拡張添付確認権限が必要。状況に応じて、ユーザーグループの再設定を実施する必要あり

02 AI-OCR(請求書)

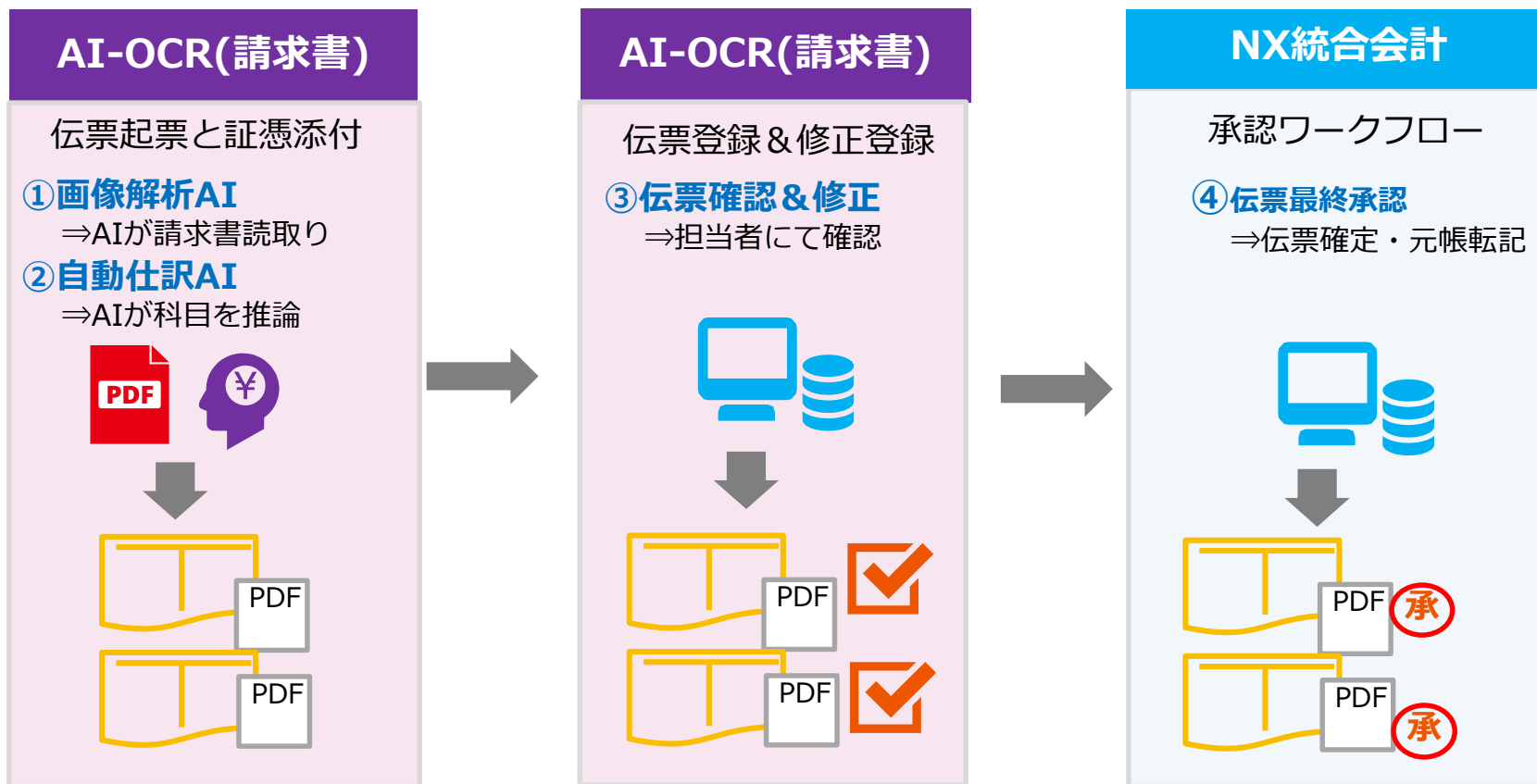
02 AI-OCR(請求書) 運用事例のご紹介



AI-OCR(請求書)

■ 機能概要

AIにてPDFの請求書内容を確認し自動起票 & 添付作業を実施
 実際にAIが登録した内容に問題ないか担当者がチェック & 修正することで伝票確定する仕組みとなり、読み取った請求書データは証憑データとして保持



AI-OCR(請求書)

■ 運用事例を2つご紹介(導入中)

 パターン1 支払伝票の入力業務を各拠点に展開



 パターン2 支払伝票の入力効率化と自動添付が可能



AI-OCR(請求書) 運用事例のご紹介

■ パターン1 支払伝票の入力業務を各拠点に展開

従来の運用

各拠点へ送られてきた請求書を本社経理に送付(郵送)
経理担当者がまとめて支払伝票の入力を実施



運用変更

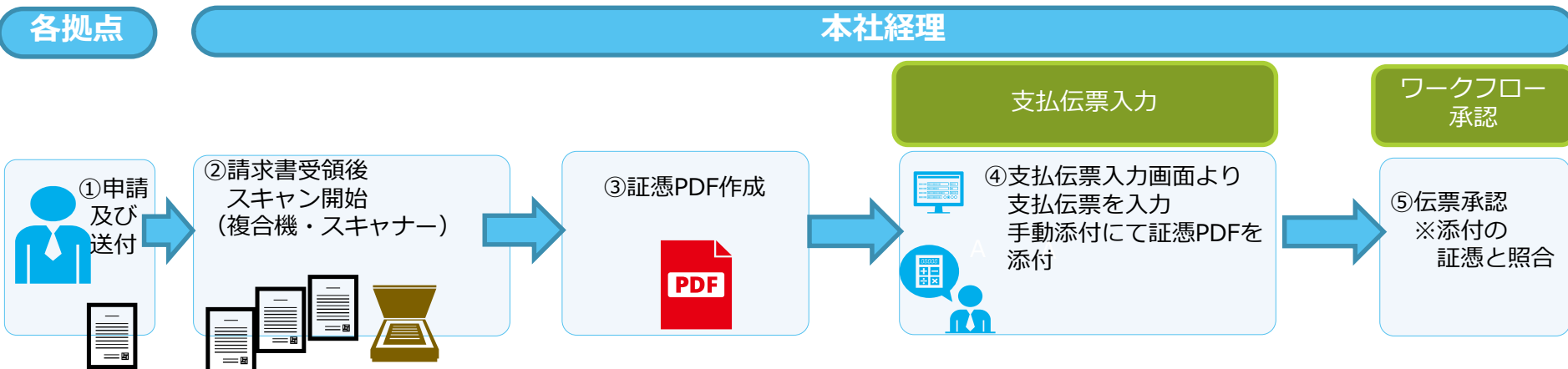
導入後の運用

各拠点の事務担当がAI-OCR(請求書)を使って支払伝票を作成する運用へ
経理業務が主業務でない方でも効率的に伝票の起票が行うことができ、
請求書送付の頻度が減少、伝票計上のタイミングも早くなる効果が期待
される

AI-OCR(請求書) 運用事例のご紹介

■パターン1 支払伝票の入力業務を各拠点に展開

<従来の運用>



<AI-OCR導入後の運用> 各拠点担当者にて効率的で誤りが少ない入力が可能



AI-OCR(請求書) 運用事例のご紹介

■ パターン2 支払伝票の入力効率化と自動添付が可能

従来の運用

PDFで送られてきた請求書をもとに経理担当者が支払伝票入力を手入力を行い、証憑PDFの手動添付を実施



運用変更

導入後の運用

AI支払伝票作成画面で読取による伝票作成と証憑PDFの自動添付が可能となり、入力効率化と自動添付により業務が改善

AI-OCR(請求書) 運用事例のご紹介

■パターン2 支払伝票の入力効率化と自動添付が可能

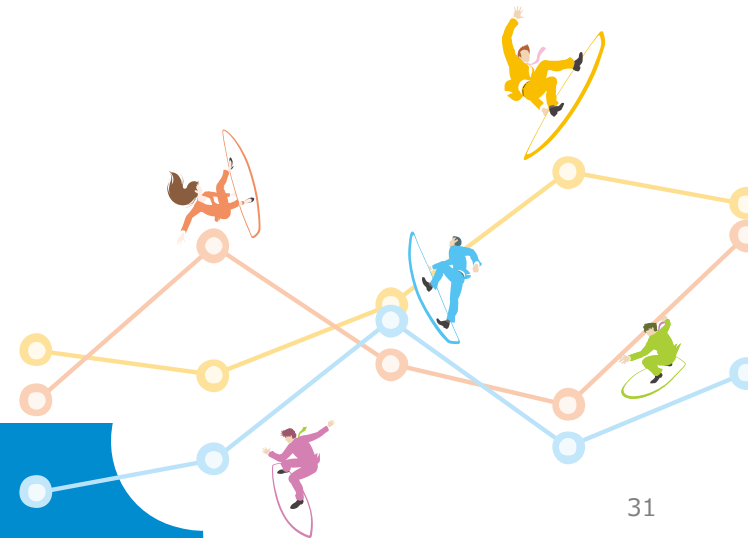
<従来の運用>



<AI-OCR導入後の運用>



02 AI-OCR(請求書) 導入事例のご紹介



AI-OCR(請求書)

■ 導入手順

SuperStream-NX統合会計をすでにご利用頂いているお客様にAI-OCRを導入する場合の作業項目は以下の通りです

<スーパーストリームにて標準導入を実施した場合の作業項目>

作業	概要	作業内容	お客様	弊社
適合調査	<ul style="list-style-type: none"> •業務とパッケージ標準機能とのFIT & GAPを実施 •AI-OCRの運用方針を決定 	AI-OCRの機能説明		◎
		業務とパッケージ標準機能とのFIT & GAPを実施	○	◎
		運用方針の決定	◎	○
		請求書の読取テスト	○	◎
		適合調査報告書の作成・レビュー	◎	◎
導入支援 環境構築	<ul style="list-style-type: none"> •環境構築 •AI-OCR関連マスタの登録 •決定した運用方針に基づいてテスト会社にて運用テストを実施 	AI-OCRの環境構築(サーバセッティング)		◎
		関連マスタの登録	◎	△
		運用テストの実施	◎	△
本稼働	<ul style="list-style-type: none"> •本稼働を実施 	本稼働の実施	◎	△
		本稼働の確認	◎	△

◎ : 主担当 ○ : 副担当 △ : 支援 (Q&A対応等)

AI-OCR(請求書) 導入事例

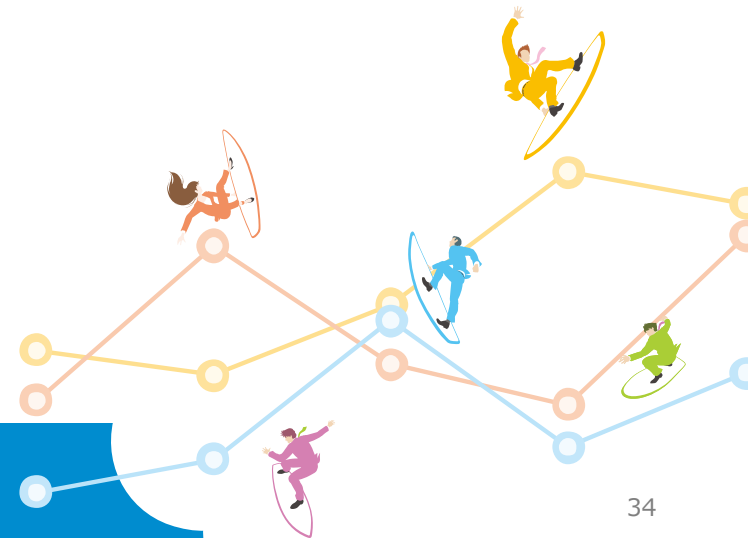
■ D社様 ※導入中

SuperStream-NX(GL/AP)を2年半ご利用後、現場入力や伝票への証憑添付を目的としてAI-OCR(請求書)を追加導入中

業種	導入状況	導入期間	お打合せ回数
卸売業	追加導入	4月～7月上旬(予定) 約3か月	計6回(予定)





フェーズ	4月	5月	6月	7月
環境構築	● 環境構築			
AI-OCR(請求書)				

02 AI-OCR(請求書) 導入のポイント




AI-OCR(請求書) 導入のポイント

■ AI-OCR(請求書)

-  オプションツール利用設定機能により会社単位での設定が必要
NX統合会計メニューでは、読取結果と仕入先マスタの紐付けを行うためのマスタである「AI経費パターンマスタ」の登録が必要であり、このマスタが重要となる
-  導入時に完全なマスタを用意するのではなく、運用開始後に徐々にマスタを整備していくことも可能
-  一括で読込を行う場合には、バッチ処理が可能。クライアントからでもバッチ実行が可能
-  証憑管理OP、証憑管理e文書対応OPと併用する場合には、それぞれのシステム要件を満たすことが必要

AI-OCR(請求書) 導入のポイント

■ AI-OCR(請求書)

 AI-OCR(請求書)を利用することにより、入力が増える場合は、以下のマスタを追加設定することも考えられます

<追加設定が想定されるマスタ例>

承認ユーザーグループ	代理承認者グループ	ワークフロー部門内承認ルート	ワークフロー主管承認ルート
会計業務権限マスタ	会計業務マスタ	科目セキュリティマスタ	部門セキュリティマスタ
メニューロールマスタ	ユーザーグループマスタ	ユーザーマスタ	ユーザー別伝票発番グループマスタ

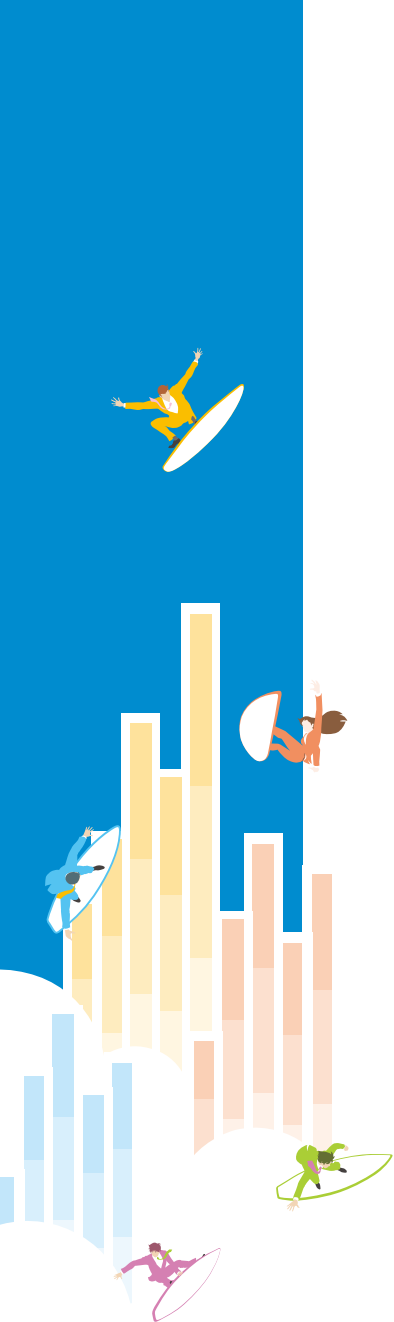
AI-OCR(請求書) 導入のポイント

■ AI-OCR(請求書)

 読取に影響が出る可能性がある請求書PDFには、以下のようなものがあります



No.	原因	対応方法
1	請求書の印字が薄い	コピーなどを行っている場合やFAXで送られてきたものであれば、原紙をPDFにする 濃度を濃くしてスキャンする
2	文字の向きが縦書きの状態ですべてPDFになっている	文字が横書きとなるようPDFの向きを調整する
3	社名に特殊な文字が入っている	—
4	社名がハンコで押印タイプで滲みがあったり、不鮮明となっている	—
5	社名に社印が被って押印されている	可能であれば、仕入先に依頼
6	PDFに傾きがある	再スキャンして傾きを修正する

03まとめ





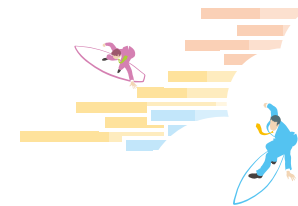
まとめ

■ 証憑管理OP/証憑管理e文書対応OP

-  紙ベースでの起票、承認、管理から脱却し、システム上での運用が可能
-  マスタ設定作業が少なく、短期間での導入が可能

■ AI-OCR(請求書)

-  紙の請求書を元にした入力業務からPDFを利用した効率的な入力業務へ業務の負荷分散や計上タイミングの早期化にも効果あり
-  比較的短期間での導入が可能



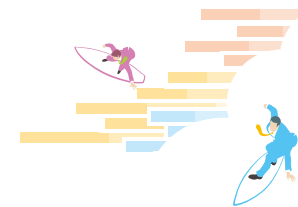
ありがとうございました。



www.superstream.co.jp/

公式SNS更新中





日本の会計・人事を もっと優しく、もっと便利に



www.superstream.co.jp/

公式SNS更新中

